

株式会社データホライゾン

2024年6月期 第2四半期決算短信補足説明資料

2022年10月に㈱ディー・エヌ・エーが保有するDeSCヘルスケア㈱（以後「DeSC」）の株式の全部を取得し、DeSCは当社の子会社となりました。これにより、当社は経営の独立性と上場を維持しながら、DeSC、㈱DPPヘルスパートナーズ、㈱ブリッジの3社を子会社としてDeNAグループのヘルスケア事業を担う企業グループとなりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高および各利益は、前年7月～9月の3ヶ月間はDeSCを連結していないため、比較すると大きく変動しておりますので補足説明いたします。

なお、百万円未満は四捨五入して表示しております。

1. 売上高

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と同じ構成の旧グループの比較では、市町村国保向けに第3期データヘルス計画作成支援業務の受注と提供が順調に推移したことなどで、前年同期と比べて3億74百万円の増加となりました。

これに、DeSCを連結したことで、新グループでは前年同期と比べ6億62百万円増加し、23億72百万円となりました。

なお、DeSCが販売しているデータ利活用サービスも前年同期に比べて、早く立ち上がっております。

	2023年6月期 前第2四半期連結累計期間				2024年6月期 当第2四半期連結累計期間					
	旧グループ		新グループ (DeSCは10-12月の3ヵ月)		旧グループ		新グループ (DeSCは7-12月の6ヵ月)			
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	対前期増減 (百万円)	増減率 (%)
市町村国保（国保組合含む）	745	55.8	747	43.7	1,051	61.5	1,087	45.9	341	45.6
都道府県庁	62	4.6	62	3.6	59	3.4	77	3.2	14	22.9
国民健康保険団体連合会	88	6.6	88	5.2	79	4.6	79	3.3	△9	-
後期高齢者医療広域連合	127	9.5	127	7.4	109	6.4	109	4.6	△18	-
国民健康保険関係 合計	1,022	76.5	1,024	59.9	1,297	75.8	1,352	57.0	327	32.0
市町村（生活保護）	61	4.6	61	3.6	51	3.0	51	2.1	△11	-
被用者保険他	52	3.9	83	4.8	72	4.2	184	7.8	102	122.8
データヘルス関連サービス	1,136	85.0	1,168	68.3	1,420	83.0	1,587	66.9	418	35.8
データ利活用サービス	110	8.2	238	13.9	220	12.9	520	21.9	281	118.1
その他	90	6.8	304	17.8	71	4.1	266	11.2	△38	-
総合計	1,336	100.0	1,710	100.0	1,711	100.0	2,372	100.0	662	38.7

2. 損益計算書

当第2四半期連結累計期間の損益は、前年同期と同じ構成の旧グループでは増収により大きく増加しましたが、DeSCを連結した新グループでは、前年同期と比べて若干の改善にとどまっております。

これは、DeSCのデータ利活用サービスの売上高が第3四半期中心となる見通しのため、第2四半期では営業利益は赤字となることと、のれん償却費1億28百万円の発生などによるものです。

前年同期と比べて経常利益の赤字幅が縮小しているのは、前年同期は第三者割当増資ならびに公開買付等に係るコンサル報酬等の支払手数料1億27百万円を営業外費用に計上しているためです。

この結果、EBITDAは旧グループでは前年同期に比べ2億76百万円増加し1億19百万円のプラスとなりましたが、新グループでは1億19百万円のマイナスとなりました。

	2023年6月期 前第2四半期連結累計期間				2024年6月期 当第2四半期連結累計期間					
	旧グループ		新グループ (DeSCは10-12月の3か月)		旧グループ		新グループ (DeSCは7-12月の6か月)			
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	対前期増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	1,336	100.0	1,710	100.0	1,711	100.0	2,372	100.0	662	38.7
売上原価	883	66.1	1,296	75.8	943	55.1	1,696	71.5	400	30.9
売上総利益	454	33.9	415	24.2	768	44.9	677	28.5	262	63.1
販管費及び一般管理費	728	54.4	877	51.3	774	45.2	1,122	47.3	245	28.0
うち研究開発費	47	3.5	50	3.0	19	1.1	36	1.5	△14	-
うちのれん償却額	-	-	64	3.8	-	-	129	5.4	64	100.0
営業利益	△274	-	△462	-	△6	-	△445	-	16	3.5
営業外収益	41	3.1	41	2.4	35	2.0	35	1.5	△6	-
営業外費用	153	11.5	153	9.0	24	1.4	25	1.1	△128	-
経常利益	△386	-	△574	-	6	0.3	△436	-	138	24.1
特別利益	-	-	-	-	1	0.1	1	0.1	1	-
特別損失	9	0.7	9	0.5	6	0.4	9	0.4	0	0.5
税引前当期純利益	△395	-	△583	-	1	0.1	△443	-	140	24.0
法人税等	△38	-	△38	-	△2	-	△0	-	37	98.8
当期純利益	△357	-	△545	-	3	0.2	△442	-	103	18.9
非支配株主に帰属する当期純利益	4	0.3	△2	-	△6	-	△22	-	△20	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△361	-	△543	-	10	0.6	△420	-	123	22.6
EBITDA(※)	△157	-	△238	-	119	7.0	△119	-	119	50.1

(※) EBITDA = 経常利益 + 金融費用 + 減価償却費 + のれん償却費 + M & Aに関連して発生した一時の費用

3. データヘルス関連サービスの受注状況

保険者の2023年度事業は、第3期データヘルス計画を作成する年度にあたり、同計画の作成支援を中心に受注件数が伸長し、取引保険者数は過去最高となる見通しです。

顧客種類	保険者数	受注件数 (2021年度事業) (件)	受注件数 (2022年度事業) (件)	受注件数 (2023年度事業) (件)
市町村国保（国保組合含む）	1,716	322	351	469
都道府県庁	47	19	17	15
国保連	47	7	4	4
後期高齢者医療広域連合	47	19	18	19
市町村（生活保護）	1,250	56	52	38
健康保険組合	1,394	39	112	101
協会けんぽ	1本部（47支部）	-（3支部）	-（6支部）	1本部（1支部）

(注) 1. 上記事業年度は顧客の事業年度となっております。
2. 2023年度事業は2024年1月時点の件数となっております。

また、当社とDeSCで営業体制の一本化を進めており、DeSCにおいて主に健康保険組合向けに提案していたヘルスケアエンターテインメントアプリ「kencom」を自治体向けにも提案を推進し、岡山県岡山市において、「kencom」を活用した事業「OKAYAMA ハレ活プロジェクト」を2023年8月1日より開始しております。従来由市町村国保向け保健事業に加え、健康増進分野も含めてグループ全体で幅広いサービスを自治体・保険者向けに提供しております。

4. データ利活用サービスの営業状況

データ利活用サービスの売上高が第3四半期中心となる見通しであり、当第2四半期連結累計期間は大きな売上が見込まれる時期ではないものの、前年同期と比較して増収となりました。継続的な売上成長に向け営業体制を強化する他、他社とのアライアンスによる提案活動やアカデミアへのデータ提供による論文文化も引き続き進捗しており、顧客基盤の更なる拡大および取引単価の拡大に向けて積極的な提案活動を行っております。

補足説明資料は、公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

お問合せ先：株式会社データホライズン

管理本部長 内藤 慎一郎 ・ 経理部長 富永 美保
(TEL 082 - 279 - 5525)

以上